

地産地消の生活へ ～環境出前授業～ 京丹波のまちのニュースをお届けします。

地産地消の生活へ

■環境出前授業

町女性の会研修会の一環として八月九日に、須知高校で環境出前授業が行われました。

研修会では、環境カウンセラーの資格を持つ同校の田中良興先生を講師に迎え、食品の総輸送量と輸送距離で算出する「フードマイレージ」をテーマに、環境への負荷を減らす生活について学びました。

一九七〇年と二〇〇八年の家庭の夕食づくりをテーマに行われたグループワークでは、各班と

も決められた予算の範囲で数種類の料理を考案。料理のフードマイレージを算出した参加者は、購入先によって大きな差があることに驚いていました。

結果を受け田中先生は「フードマイレージが大きいほど環境には良くない。日本は世界でも突出しています」と解説し、「原因の一つは約四〇%という食料自給率の低さ。フードマイレージを知ること、食生活を変えていってほしい」と呼びかけました。

参加した片山加代子さん(大籾)は「家で作った旬のものを食べ



夕食のメニューを考える参加者(須知高校・豊田)

るように気をつけたいと思いました。自分で作っているものを調理できることを幸せに思いたい」と、研修の感想を話していました。